

令和6年4月30日

新潟市議会議長 様

会 派 名 無 所 属 の 会
代 表 者 名 小 泉 仲 之
経 理 責 任 者 名 中 山 均

令和5年度政務活動費収支報告書

新潟市議会政務活動費の交付に関する条例第9条に基づき、令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 (単位 円)

	金 額	備 考
政 務 活 動 費	990,000	@30,000×3人×11月

2 支 出 (単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	462,440	別紙のとおり
研 修 費		
広 報 費	527,560	別紙のとおり
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	990,000	

3 残 額 0 円

支出伝票一覧表

会派名	無所属の会			
支出年度	令和5年度	支出項目	調査研究費	NO. 1
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額(円)	備考
1	R5.6.20	新潟日報政経懇話会会費(7月～9月)	63,275	275円は振込手数料
2	R5.10.2	47行政ジャーナルサービス利用料(8月・9月分)	48,675	275円は振込手数料
3	R5.10.2	新潟日報政経懇話会会費(10月～3月)	126,275	275円は振込手数料
4	R5.12.8	「歴史まちづくりサミット高岡」視察研修費	69,520	歴史と文化のまちづくり推進議員連盟視察に会費として参加
5	R6.4.18	コピー機使用料	9,495	5月分は日数按分により0円
6	R6.4.23	47行政ジャーナルサービス利用料(10月～12月分)	72,600	
7	R6.4.23	47行政ジャーナルサービス利用料(1月～3月分)	72,600	
		小 計	462,440	
		合 計	462,440	

支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	1
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年7月1日 から 令和5年9月30日		
支出年月日	令和5年6月20日		
支 出 金 額	63,275 円		
支 出 先	新潟日報政経懇話会		
使 途 内 容	新潟日報政経懇話会会費(7月～9月)		
備 考	275円は振込手数料		
領収書貼付欄		(調査研究費)	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

令和5年6月6日

新潟市議会「無所属の会」様

請求書

¥ 63,000-

但し 新潟日報政経懇話会（令和5年7月～9月分）会費として

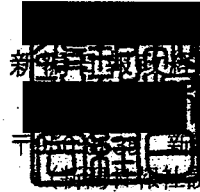
【振込先】



ニッポウウセイケイコンワカイ

【納入期限】

令和5年7月31日（月）



新潟日報政経懇話会事務局

事務局長 杉田 真

〒951-8533 新潟市中央区 1-1

新潟日報社統括者局ふれあいセンター（営業部内）

電話 025 (385) 7144

第四北越銀行

お取引明細票

お取扱日	取扱店	号機	IB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
05-06-20	281	26	N			*****	17	振込
万円	千円	百円	千円	500円	100円	50円	10円	お取引金額
								¥63,000
								お取引後元振換高
								¥27*****
ご案内		* お振込明細 *				080017		
お振込先		[Redacted]						09:17
ご依頼人		タ.ニッポウウセイケイコンワカイ サトウ アキラ 様						印紙税申告納付につき新潟税務署へ御連絡
		ムシヨウワカイ コイズミ ナカキ 様						
		TEL [Redacted]						

※ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。
 ●ご利用のお振込先
 ※ご利用の日および地域により当行所定の手数料（通帳費）を手数料欄に記載のとおりお支払いいただいております。
 ※ただしキャッシュカードの請求は、ご利用の決済日にお取引口座からお支払いただきます。
 ※印紙税納付の必要がない場合は、※印で済みます。
 ※裏面のご案内を合わせてご覧ください。

2023/05/29

新潟市議会「無所属の会」

代表 小泉 伸之 様
中山 均 様
幸田 健太 様

新潟日報政経懇話会
事務局 局長 石山 真

新潟日報政経懇話会・新潟会 入会のご案内

当会にお問い合わせをいただきまして、誠にありがとうございます。

新潟日報政経懇話会・新潟会では、各界の第一線で活躍の講師を月1回お招きし、新潟市内のホテルで例会を開催しております。

政治・経済をはじめ、タイムリーな内容の講演を約1時間半お届けいたします。共同通信社発行の情報冊子、経済誌「プレジデント」もお送りいたします。

現在の新潟会会員は、110人ほどです。個人、企業、自治体議員など、さまざまな立場の方が、スキルアップや最新の情報を得ようと参加してくださっています。

皆さまの例会へのお越しを、事務局一同、お待ちしております。

■会費 月額7千円。「4月～9月」、「10月～翌年3月」の半期ごと、前納制です。途中入会の際は、入会月から期末月までの月数分になります。入会申込の手続き後、請求書をお送りいたします。

- 会費の内容 ①毎月の例会参加(昼食付き、代理出席可)
②共同通信社より毎週郵送の情報冊子「政経週報」
③プレジデント社より月2回宅配の総合情報誌「プレジデント」

<お問い合わせ先>

新潟日報政経懇話会事務局(新潟日报社ふれあい事業部内)

〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1

TEL 025(385)7470/FAX 025(385)7446

n-seikon@niigata-nippo.co.jp

担当: XXXXXXXXXX

新潟日報 政経懇話会のご案内

タイムリーで良質な情報をじかに。

「新潟日報政経懇話会」は、国際、中央、地方の情勢を的確に提供するため、1968年に設立された会員制懇話会です。現在は、新潟会、長岡会、上越会合わせて計250人にご入会いただいております。月1回の例会では、政治、経済、文化など各分野に詳しい講師を招き、さまざまなニュースの背景や、現代社会を取り巻く事象の読み解き方などをご講演いただいております。ビジネス成功のヒントに、異業種間交流に、社員教育の一環として、ぜひ新潟日報政経懇話会をご活用ください。



2023.03.25
新潟日報朝刊

「日経」
「政経懇話会」
新潟

新潟日報政経懇話会
新潟会
〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1
TEL. 025-385-7144 (土日祝日を除く10:00~17:30)
seikon-ni@niigata-nippo.co.jp

共同通信経済部長 香木 和臣氏

「植田日銀」困難な船出

植田日銀の船出は、日銀の政策転換を意味する。日銀は、金融緩和政策を維持し、物価上昇を促す。これは、日銀の政策転換を示唆している。植田日銀の船出は、日銀の政策転換を意味する。日銀は、金融緩和政策を維持し、物価上昇を促す。これは、日銀の政策転換を示唆している。



2023.01.26
新潟日報朝刊

「日経」
「政経懇話会」
新潟

新潟日報政経懇話会
新潟会
〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1
TEL. 025-385-7144 (土日祝日を除く10:00~17:30)
seikon-ni@niigata-nippo.co.jp

歌手・俳優 越乃リユウさん

「植田日銀」困難な船出

植田日銀の船出は、日銀の政策転換を意味する。日銀は、金融緩和政策を維持し、物価上昇を促す。これは、日銀の政策転換を示唆している。植田日銀の船出は、日銀の政策転換を意味する。日銀は、金融緩和政策を維持し、物価上昇を促す。これは、日銀の政策転換を示唆している。

毎月1回、講演会を開催
昼食付き

会費は月額7,000円(税込)
昼食代などを含む。
会費半年6か月分42,000円を前納

世界のニュースを素早くキャッチし、新聞とは別の角度で真相・深層をとらえた情報小冊子
「政経週報」を毎週進呈
(全国政経事務局から直送)

決断力、問題解決力、行動力。
ビジネスに役立つヒント満載の雑誌
「プレジデント」を月2回進呈
(プレジデント社から直送)

代理出席も可能
社員教育にもご活用ください

法人・個人共にご入会可能

新潟日報政経懇話会 事務局

新潟日報社 ふれあい事業部内
新潟会 〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1 TEL. 025-385-7144 (土日祝日を除く10:00~17:30)
seikon-ni@niigata-nippo.co.jp



支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	2
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年8月1日 から 令和5年9月30日		
支出年月日	令和5年10月2日		
支 出 金 額	48,675 円		
支 出 先	株式会社 新潟日報社		
使 途 内 容	47行政ジャーナルサービス利用料(8月・9月分)		
備 考	275円は振込手数料		
領収書貼付欄	(調査研究費)		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

お取引明細票

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
05-10-02	281	24	N			*****	167	振込
万円	千円	円	角	分	厘	納	金	お取引後元残高
							¥48,400	¥279*****
ご案内		* お振込明細 *				0C0167		
お振込先		[REDACTED]						12:50
ご依頼人		(カ)ニイカ [®] タニツホ [®] ウシロ ヲウ アキラ 様						印紙税申告納付につき新潟証券事務所様へ
		△シヨバクノカイ コイズミ ナカキ 様						
TEL		[REDACTED]						

毎歳ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。
 ●ご利用のお金額へ
 のご利用の旨および総額により当行所定の手数料（各商會費）を手数料欄記載のとおり
 お支払いいただいております。
 のたばしキャッシングサービスの場合は、ご利用日の翌日にお取引口座からお支払い
 いただきます。

951 8550
新潟市中央区学校町1番町602-1
新潟市役所 内

請求番号 220230900030-001 1/1 頁

請求日付 2023年9月30日

市議会 無所属の会 様

株式会社 **新潟日報社**

お客様コード
登録番号

請求書

下記の通りご請求申し上げます。
※到着後10日間ご連絡がない場合は確認済みといたします。

〒950-8535
新潟市中央区万代3丁目1番1号
【お問い合わせ】
営業統括管理室 TEL:025-385-7462
登録番号 T8110001004023

※内容にご不明な点がございましたら遠慮なく上記へご連絡ください。
なお、当請求書と行き違いでお支払いの場合はご容赦ください。

売上額	消費税	
¥44,000	¥4,400	¥48,400

品番	年月日	品名	数量	単価	金額	税率
1	2023/9/30	【ビジマスデジタル】ニュース提供料 収入114下期			44,000	10%
		47行政ジャーナルサービス利用料(8月・9月分)				

税率	請求税別内訳			相殺・手数料税別内訳		
	課税対象額	消費税	合計	課税対象額	消費税	合計
10%	44,000	4,400	48,400			
軽減8%						
標準8%						
非課税						

※お振込みは下記の口座をお願いいたします。
口座名義:株式会社新潟日報社

支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	3
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年10月1日 から 令和6年3月31日		
支出年月日	令和5年10月2日		
支 出 金 額	126,275 円		
支 出 先	新潟日報政経懇話会		
使 途 内 容	新潟日報政経懇話会会費(10月～3月)		
備 考	275円は振込手数料		
領収書貼付欄	(調査研究費)		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

新潟市議会「無所属の会」様

<会員No. [redacted]>

請求書

¥ 126,000 - (税込み)

種目	数量	単価 (税込み)	金額 (税込み)	摘要
新潟日報政経懇話会 会費 (3人分)	6ヵ月分	7,000	126,000	令和5年10月~ 令和6年3月分

うち消費税 10%対象 11,454円

- ・例会参加費 (昼食込み)
- ・「政経週報」(共同通信社より毎週郵送)
- ・「プレジデント」(プレジデント社より月2回宅配) が含まれます。

■納入期限 11月24日 (金) までにお納めくださいますようお願い申し上げます。

■振込先 [redacted]

[redacted]
 新潟日報政経懇話会 新潟会
 事務局長 山形 真 [redacted]
 〒950-8535 新潟市中央区万代3丁目1番1号
 新潟日报社 読者局ふれあい事業部内
 登録番号: T9700-1500-22310

第四北越銀行

お取引明細票

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	お取引内容
05-10-02	281	25	N	[redacted]	[redacted]	*****	134	振込
万円	千円	百円	円	角	分	円	銭	お取引金額
								¥126,000
								お取引後元帳残高
								¥275*****

ご案内 * お振込明細 * OAD134

お振込先 [redacted]

12:59

ご依頼人 山形 真様
 TEL [redacted]

印紙税申告納付につき新潟事務所へお送りいたします。

※お取引の明細は、お取引の翌日にお取引口座から送付いたします。

支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	4
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年10月30日 から 令和5年10月31日		
支出年月日	令和5年12月8日		
支 出 金 額	69,520 円		
支 出 先	新潟交通株式会社		
使 途 内 容	「歴史まちづくりサミット高岡」視察研修費		
備 考	歴史と文化のまちづくり推進議員連盟視察に会派として参加		

領収書貼付欄

(調査研究費)

領 収 書

No. 005565

令和 5 年 12 月 4 日

無所属の会 様

下記金額正に領収致しました

¥ 69,520

12/30~31 高岡研修費用として
2名11分


新潟市東区西堀1丁目6番1号
新潟交通株式会社
登録番号 T7110001003728

内 訳

税率	税抜金額	¥	63,200
10%	消費税額	¥	6,320


税率	税抜金額	¥	
%	消費税額	¥	

経理46 B6 様



発行所
販売企画課

取扱者印



取扱者印なきものは無効

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

NO. 533892

令和5年11月30日

無所属の会 様

2023/10/30~31

歴史と文化のまちづくり推進議員連盟

高岡研修費用

2名様 (小泉議員、幸田議員)

T7110001003728

新潟交通株式会社

販売企画課 販売推進課係

新潟市中央区万代1-6-1

代表取締役社長 星野 佳人

TeI 025-246-6366

担当

ご旅行費用請求書

基本費用	単価	数量	金額	摘要
宿泊代金	13,000	2	26,000	ニューオーターニ高岡
交通費負担額(貸切バス一式)	21,760	2	43,520	250,160/23名=10,880円/片道ベース 10,880×2=21,760円/1名
小 計			69,520	
その他経費	単価	数量	金額	摘要
小 計			0	
合計金額			69,520	
合計金額			¥69,520	

この度は弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。
上記の通りご請求させていただきます。何卒よろしくお願ひいたします。

消費税10%課税対象	
税抜き	¥63,200
消費税	¥6,320

◆振込口座: [Redacted]
新潟交通株式会社 販売推進係(ニイガタコウツウ.カ ハンバイスイシガカリ)

《発行責任者及び担当者》

	役職	氏名	電話連絡先
発行責任者	[Redacted]	[Redacted]	025-246-6366
担当者	[Redacted]	[Redacted]	025-246-6366

※クレジットカード決済の場合はバスセンター内店舗にて決済をお願いします。
(くれよん万代 営業時間 10:00~17:00 水曜定休)

※現金の場合: 翔政会 ([Redacted]さん)に会期中にお預けください。期限12月22日(金曜日)(領収書は後日)

視察（出張）報告書

令和5年11月1日

新潟市議会議長様

氏名 小泉 仲之

下記のとおり、視察（出張）が終了したので報告します。

視察議員	小泉 仲之議員 幸田 健太議員
期 間	令和 5年 10月 30日（月）～令和 5年 10月 31日（火）
視 察 先	富山県高岡市
視 察 用 務	(1) 瑞龍寺、山町筋における観光ボランティアガイドの役割について (2) 金屋のまちづくり活動について (3) 北陸歴史まちづくりサミット
視察先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

歴史と文化のまちづくり推進議員連盟 北陸まちづくりサミット視察報告

■瑞龍寺・山町筋について

視察日時 令和5年10月31日 9:30~11:00

視察事項 瑞龍寺・山町筋における観光ボランティアガイドの役割について

視察箇所 瑞龍寺 山町筋

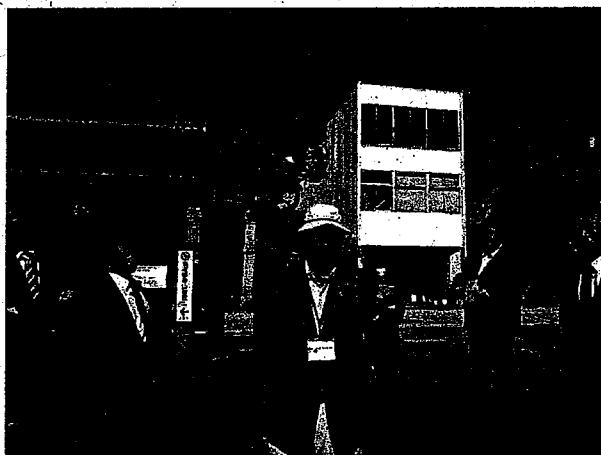
視察面会者 観光ボランティア「保与の会」代表 [redacted] 氏 [redacted] 氏

1、視察概要

富山県高岡市は人口約16万人、富山県西部に位置する、富山市に次ぐ富山県第二の都市である。瑞龍寺、勝興寺の二つの国宝を持つ、他にまちづくりの中心となった高岡城など歴史的な遺産を多数有している。歴史的な遺産、建造物を現在の観光に活かすべく活動する観光ボランティアガイドに、実際のガイドをしてもらいながら話を伺った。

「保与の会」は高岡市外からの観光客や修学旅行生のガイドはもちろん、高岡市民へ自身の持つ歴史や文化の素晴らしさを伝える活動を行っている。現在の会員数24名、約30年前、地元の魅力を再発見する活動からはじまり、発展し地域の魅力を発信するガイド団体となる。ガイド技術の向上、知識を深めるための研修会を定期的に行っている。

課題は新規会員が少なく、会員全体が高齢化していること、と話されていました。



■金屋町について

視察日時 2023年10月31日(火) 11:50~12:30

視察事項 金屋のまちづくり活動について

視察会場 高岡市 金屋鋳物師町交流館

視察面会者 NPO 法人金屋町元気プロジェクト 理事長 加藤 昌宏 氏

1、金屋町の紹介

慶長14年(1609年)に加賀藩二代目藩主 前田 利長公が隠居城として高岡城に入城され、その際に城下町として栄えたのが金屋町です。まちづくりの一環で鋳物が栄えた。

2、金屋町まちづくり推進協議会とまちづくりの歩み

昭和55年 北越銀行金屋町支店を買収し、金屋町公民館を設立。併せて鋳物資料館を開設~現在は場所を変えて高岡市鋳物資料館として存在。当時、市はここに循環バスを通すと計画していたが、住民が大反対した。その際にまちなみを守る会を発足し、住民が主体となって市と折衝し、住民バスの計画はなくなった。

昭和57年 金屋町まちづくり推進協議会が発足し、町民全員がメンバーとなった。

昭和58年 高岡市の都市計画事業として、金屋町の道路が無電柱化と消雪装置のある石畳工事が始まった。(平成3年に完成)

昭和59年 鳳鳴橋の改修時に鳳凰像一対が設置された。

昭和62年 家の新築や改修する際は、町並みに合わせようという「金屋町まちづくり憲章」を作成。

平成元年 金屋町緑地公園が完成。

平成9年 「町並みを考える藤グループ」が公園の清掃活動を目的に発足し、観光協会から町の案内を依頼されてガイドを始める。

平成11年 郷土を学ぶために「金屋学講座」を開講。(毎年1~2回開催)

「金屋町七ヶ町散策マップ」を作成。

平成12年 まちづくり先進地視察研修を実施。

平成20年 金屋町7町の自治会が統合する。

平成22年 金屋町通信を発行。

平成24年 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。

3、にぎわいづくりの活動について

祭り

- ・さまのこフェスタ in 金屋町 (平成13年~19年)
- ・金屋町楽市 in さまのこ (平成20年~29年)
- ・ミラレ金屋町 (平成30年~)
- ・御印祭 (平成20年~)

記念式典

- ・金屋町開町四百年記念事業（平成 23 年）

インバウンド

- ・おもてなし外国語講座（平成 23 年～）中国語、韓国語、英語を研修
- ・おもてなし外国語冊子の制作（平成 24 年～）

お土産

- ・洋風落雁「KANAYA」（平成 24 年～）石畳をイメージした模様

4、今後の展望や課題等について

- ・鋳物師町工場の設置
- ・空き家、空き地対策と活力あるまちづくり
- ・観光駐車場の整備
- ・観光と「生活している町」との両立を考える。

これらの問題に立ち向かうため、「金屋町元気プロジェクト」を発足。（平成 25 年発足、平成 28 年に NPO 法人化）

ホームページの作成や居住体験宿泊施設「さまのこハウス」を設置、富山大学芸文学部とコラボし、空き家対策とまちづくりへの取組を積極的に行っている。



■北陸歴史まちづくりサミット

- ・日時 令和5年10月31日(火) 14時～17時
- ・会場 高岡市生涯学習センター(富山県高岡市末広町)4階ホール(ウイング・ウイング高岡)
- ・目的

北陸地方全体において、歴史まちづくりに関する機運を高めることを目指す第2回サミットに参加し、本市における今後の取り組みに生かす。

・面会者

地域文化総合研究所代表、北陸大学非常勤講師 長谷川孝徳氏

角田悠紀高岡市長、村山卓金沢市長、宮元陸加賀市長、高橋邦芳村上市長、渡辺竜五佐渡市長

北陸の歴史まちづくり先進都市(石川県金沢市、新潟県村上市、新潟県佐渡市、石川県加賀市、富山県高岡市)の首長が一堂に会し、歴史まちづくりの推進に向けて、ノウハウの共有や、国や都市間での連携などについて意見を交わす「第2回北陸歴史まちづくりサミット」を開催する。新規認定都市の加賀市を紹介するほか、金沢市、村上市、佐渡市、加賀市、高岡市の市長が「アフターコロナにおける歴史まちづくり」をテーマにパネルディスカッションを行った。

歴史まちづくり計画が国の認定を受けている高岡、金沢、加賀、新潟県村上、同佐渡の5市の市長がアフターコロナや北陸新幹線延伸を見据え、歴史の風情を生かしたまちづくりのノウハウを共有した。

市民が一丸となり、それぞれの市が連携して歴史的風致の維持に取り組むことを申し合わせた。

サミットは3年ぶりに開かれ、2021年に歴史まちづくり計画が認定された加賀市が初参加した。

パネルディスカッションは角田悠紀高岡市長、村山卓金沢市長、宮元陸加賀市長、高橋邦芳村上市長、渡辺竜五佐渡市長が登場し、それぞれの取り組みを語った。

角田高岡市長は、加賀藩前田家2代前田利長が築城した高岡城跡である高岡古城公園の景観整備へ、市民らの支援を募っていることを紹介し「何をやろうとしているかを分かりやすくして、市民の共感と呼ぶことが大事だ」と語った。

村山金沢市長は来春の北陸新幹線敦賀延伸に向け「サミット参加市や福井と連携し、地域の経済効果を高めたい」と述べた。

地域文化総合研究所代表で北陸大非常勤講師の長谷川孝徳さんが基調講演し、雪が多い北陸の気象や食文化も含め、風土に合わせたまちづくりが必要だと説明した。

高岡市の瑞龍寺、勝興寺の2国宝など、5市の文化財や伝統行事を発信する歴史まちづくりカードの完成披露も行われた。11月1日から各市で配布することとした。

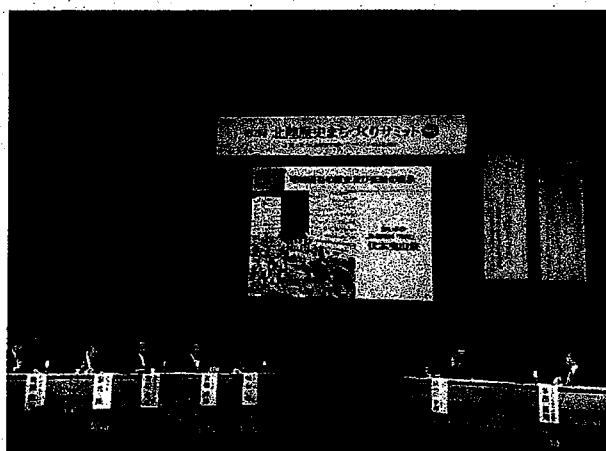
第1回目は金沢市で開催され、各認定都市が歴史まちづくりを推進し、個性や魅力にあふれる元気なまちを創り上げていくことを祈念し、4市長より「今後さらに市民と行政の協働により、先人から受け継がれてきた歴史的風致を保全、活用するとともに新たな価値を創出するなど、より魅力あふれるまちづくりに積極的に取り組んで行く」などとした、サミット宣言がなされた。

共同宣言案は以下に記載する。

第1回北陸歴史まちづくりサミット 共同宣言 (案)

北陸地方のそれぞれの地域には、文化財や歴史的価値の高い資産が残され、人々の生活や生業がこれらの歴史文化資産と共に営まれており、地域固有の風情・情緒・たたずまいといった歴史的風致が保存継承されています。一方で、歴史的建築物の滅失や、それらと一体となって歴史的な風情を醸し出している自然環境の減少、伝統文化や伝統産業などの担い手不足といった課題も少なくありません。現代に生きる私たちは、地域に受け継がれてきた大切な歴史文化資産を守り育み、後世に継承する責務があります。本日、ここ金沢において、北陸の認定都市が一堂に会し、歴史都市が担う役割や様々な課題についての意見交換を行うことで、歴史まちづくりの推進が、それぞれの「まち」の個性や魅力を高め、市民と共に守り育てていくことで、持続可能な「まち」につながっていくことを確認できました。さらに、歴史都市同士が互いに連携して魅力を発信することで、新たに歴史都市を目指す都市が加わるなど、ここ北陸全体の歴史まちづくりの発展につながることを確信しています。私たちは、今後さらに市民と行政の協働により、先人から受け継がれてきた歴史的風致を保全、活用するとともに、新たな価値を創出するなど、より魅力あふれるまちづくりに積極的に取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和2年11月5日 北陸歴史まちづくり認定都市一同 (高岡市、村上市、佐渡市、金沢市)



■所見

国宝の瑞龍寺はもちろん、山町筋の街並みも写真やインターネットだけでも、その美しさ素晴らしさを感じることはできます。さらにその地を訪れば、実物に触れることで写真やインターネットでは知りえない新たな発見があると思います。ボランティアガイドの役割は二次元、三次元の情報に時間軸の情報を加え、実物を更に深く理解し、ここにしかない、この時しかない体験を観光客に与えてくれています。歴史的な資源、観光資源をより魅力的、価値を高める役割を担っているように感じました。実際にガイドを受けた感想は、「保与の会」の方々の郷土に対する愛情、誇りが私たちに伝わってきます。

ボランティアガイドの団体はナイロン製のジャンパーをユニフォームにすることが多いように思いますが、「保与の会」は落ち着いたグリーンジャケットを着用し、国宝瑞龍寺の雰囲気、景観を損なわないような配慮だと思われまます。そこから、郷土への誇りを感じました。この人たちは本気だ、という印象を持ちました。

山町筋や金屋町は「重要伝統的建造物群保存地区」に指定され、例えば電柱の地中化、石畳風の舗装等により、かつての景観を想像しやすい工夫がなされている。

また、新しいお店も外側はかつての景観を保存、もしくはかつての景観に改修するなど、街並みにあった外観を残しながら、内側は現代の機能的なものという作りです。歴史的な街並みを維持しながら、維持することで経済が成り立つような工夫をしている。街並みを維持することは費用が掛かることですが、街並みを維持することで利益が上がる仕組みを作ることが重要だと感じた。

個人的には高岡市と言えば「藤子不二雄」です。本市を含め「まんがまちづくり都市サミット」を将来、開催できることを望みます。

さすがは元城下町であり、国の重要伝統的建造物群保存地区というだけあり、日本遺産に指定されている建物からはとても歴史を感じ、見ているだけでも感動しました。

しかし、もっと素晴らしかったのは住民主体のまちづくりと保存への意識です。この町で生まれ育ち、価値を感じてそれを残していくための努力してきた方々と、この町をよりよくするためにも外から人を巻き込んでいき、それでも町が一丸となっている取り組みに感銘を受けました。

人口減少に伴う課題はありますが、この町の特徴を活かしながらいかに町の素晴らしさを後世に残せるか、また観光としてのブランディング化やプロモーションなどの取り組みも新潟市が参考になるところが沢山あるのではないかと感じました。

北陸まちづくりサミットでは参加市の各市長が歴史遺産を活かした、まちづくりについての工夫、魅力の発信を行っていました。特に「歴史まちカード」は写真の選定理由、その背景など1枚のカードを通じて各市の持つ魅力を訪れた人に伝えることが可能なツールであると理解しました。また、カードをコレクションすることが訪問動機にもなり、小さなカードから大きな可能性を感じました。本市も今後、「歴史まちカード」の作成、参加を検討しても良いと感じました。

支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	5
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年5月2日 から 令和6年3月31日		
支出年月日	令和6年4月18日		
支 出 金 額	9,495 円		
支 出 先	議会事務局総務課		
使 途 内 容	コピー機使用料		
備 考	5月分は日数按分により0円 18,990 円 × 1/2 = 9,495 円		
領収書貼付欄	(調査研究費)		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

新潟県新潟市 納入通知書 兼 領収証書


〒
無所属の会 様

年度	5	担当課	議会事務局総務課	調定番号	1116659 <00125384>
会計	005	一般会計			
款	25	雑収入			
第	05	雑入			
目	03	雑入			
事業					
区	11	議会費雑入			
経路	10	<議会事務局>議会費雑入			
経年	10	<議会事務局>その他雑入			
摘要	コピー機使用料(令和5年5月分~令和6年2月分)				

納付金額 14,672円

納期限 2024年(令和 6年) 3月25日

上記の金額を納期限までに納入してください。
2024年(令和 6年) 3月13日

新潟市長 

領収日付印
2
出納
6.3.15
第 四 北 越
新 潟 市 役 所
(捺入者印)

令和5年度 コピー機使用料明細一覧表

無所属の会 様

月分	白黒コピー (各階機)		カラーコピー等 (印刷室)		各月使用料	備考
	枚数	金額	枚数	金額		
4月分	2	1	-	-	1円	
5月分	156	129	1,251	3,928	4,057円	
6月分	42	34	17	50	94円	
7月分	1,013	840	44	141	981円	
8月分	1,076	887	1,011	2,475	3,362円	
9月分	296	244	413	1,403	1,647円	
10月分	264	217	84	281	498円	
11月分	230	189	589	1,619	1,808円	
12月分	82	67	136	462	529円	
1月分	859	708	303	997	1,705円	入金済
2月分	1,733	1,448	853	2,871	4,319円	
3月分	5,753	4,704	4,701	14,227	18,981円	
合計						

※「4月分」「5月分から2月分」「3月分」とに分けて請求いたします。

(令和5年4月15日作成)

納入通知書 兼 領収証書

無所属の会

〒 1123263 00133092

〒 1123263 00133092

5 一般会計

005 一般収入

25 雑収入

06 雑収入

03 雑収入

11 一般会計

10 <議会事務局> 議会費雑入

10 <議会事務局> その他雑入

10 コピー機使用料 (令和5年3月分)

特付金額 4,319円

納入期限 2024年(令和6年)4月26日

上記の金額を納期限までに納入してください。

2024年(令和6年)4月16日

新潟市長

領収日付印

2 出納

6.4.18

第四北越 新潟市役所

(納入者保管)

支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	6
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和5年10月1日 から 令和5年12月31日		
支出年月日	令和6年4月23日		
支 出 金 額	72,600 円		
支 出 先	株式会社 新潟日報社		
使 途 内 容	47行政ジャーナルサービス利用料(10月～12月分)		
備 考	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> 領収書貼付欄 (調査研究費) </div>		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

2024/04/23 13:36

eネットバンキング

画面ID: BKM004

振込 (振込完了)

引落口座選択 振込方法選択 振込先金融機関選択 振込先支店選択 振込金額入力 振込内容確認 振込完了

ページを印刷する

振込依頼を受付けました。
振込・振替を受け付けました。
受付番号は0423001番です。
ありがとうございました。[B1000]

引落口座情報



残高
お引出し可能金額

振込先口座情報

金融機関名
支店名
科目
口座番号
受取人名 (仮)ニハクニシホウキョウアキ
振込金額 72,600円
引落合計金額 72,600円 (手数料 0円)
取引区分 振込
振込指定日 04月23日
振込依頼人名 山崎 浩一

• 振込依頼は 4月23日扱いです。

951 8550
 新潟市中央区学校町1番町602-1
 新潟市役所 内

請求番号 220231200017-001 1/1 頁

請求日付 2023年12月31日

市議会 無所属の会 様

株式会社 新潟日報社

お客様コード
 登録番号

請求書

下記の通りご請求申し上げます。
 ※到着後10日間ご連絡がない場合は確認済みといたします。

〒950-8535
 新潟市中央区万代3丁目1番1号
 【お問い合わせ】
 営業統括管理室 TEL:025-385-7462
 登録番号 T8110001004023

◆内容にご不明な点がございましたら速慮なく上記へご連絡ください。
 なお、当請求書と行き違いでお支払いの場合はご容赦ください。

売上額	消費税	合計
¥66,000	¥6,600	¥72,600

日付	品名	数量	単価	金額	税別金額	税率	税額
2023/12/31	【ビジネス局デジタル】 ニュース提供料 収入114下期			72,600	66,000	10%	6,600
	47行政ジャーナルサービス利用料 (10月~12月分)						
明細合計							

税率	請求税別内訳			相殺・手数料税別内訳		
	課税対象額	消費税	合計	課税対象額	消費税	合計
10%	66,000	6,600	72,600			
軽減8%						
標準8%						
非課税						

※お振込みは下記の口座をお願いいたします。
 口座名義:株式会社新潟日报社

支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	7
支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和6年1月1日 から 令和6年3月31日		
支出年月日	令和6年4月23日		
支 出 金 額	72,600 円		
支 出 先	株式会社 新潟日報社		
使 途 内 容	47行政ジャーナルサービス利用料(1月～3月分)		
備 考	<div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 領収書貼付欄 (調査研究費) </div>		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
 備考欄には按分率等を記入してください。

2024/04/23 13:40

eネットバンキング

画面ID : BKM004

振込 (振込完了)

引落口座選択 振込方法選択 振込先金融機関選択 振込先支店選択 振込金額入力 振込内容確認 振込完了

振込依頼を受け付けました。
振込・振替を受け付けました。
受付番号は0423002番です。
ありがとうございました。[B1000]

ページを印刷する

引落口座情報



残高
お引出し可能金額

振込先口座情報

金融機関名

支店名

科目

口座番号

受取人名 (カ)ニハツニキョウカシキョウ

振込金額 72,600円

引落合計金額 72,600円 (手数料 0円)

取引区分 振込

振込指定日 04月23日

振込依頼人名 ムツヅクカシ

• 振込依頼は 4月23日扱いです。

951 8550
 新潟市中央区学校町1番町602-1
 新潟市役所 内

請求番号 220240300026-001 1/1 頁

請求日付 2024年3月14日

市議会 無所属の会 様

株式会社 新潟日報社

お客様コード
 登録番号

請求書

下記の通りご請求申し上げます。
 ※到着後10日間ご連絡がない場合は確認済みといたします。

〒950-8536
 新潟市中央区万代3丁目1番1号
 【お問い合わせ】
 営業統括管理室 TEL:025-385-7462
 登録番号 T8110001004023

売上額	消費税	請求金額
¥66,000	¥6,600	¥72,600

※内容にご不明な点がございましたら速速なく上記へご連絡ください。
 なお、当請求書と行き違いでお支払いの場合はご容赦ください。

No.	日付	事業/件名	摘要	金額(税込)	税率
1	2024/3/14	【ビジ初局デジタル】ニュース提供料収入115上期	47行政ジャーナル 利用料 (1~3月分)	72,600	10%
【明細合計】				72,600	

税率	請求税別内訳			租税・手数料税別内訳		
	課税対象額	消費税	合計	課税対象額	消費税	合計
10%	66,000	6,600	72,600			
軽減8%						
標準8%						
非課税						

※お振込みは下記の口座をお願いいたします。
 口座名義:株式会社新潟日報社

支出伝票一覧表

会派名	無所属の会			
支出年度	令和5年度	支出項目	広報費	NO. 1
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額(円)	備考
1	R6.3.27	会派通信新聞折り込み代	139,967	折込日はR6.3.31
2	R6.3.28	会派通信郵送料	242,963	西区域内に郵送
3	R6.4.18	会派通信作成・印刷代	124,678	<small>B4用印刷18000部のうち折込38850部、残1600は手配り A3用5000部のうち西区内郵送3325部、残1674は手配り中央区等への郵送に使用 266,200円のうち121,578円を計上</small>
4	R6.4.22	会派通信封入作業等	19,952	
		小 計	527,560	
		合 計	527,560	

支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	1
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和6年3月31日		
支出年月日	令和6年3月27日		
支 出 金 額	139,967 円		
支 出 先	株式会社 新潟日報メディアネット		
使 途 内 容	会派通信新聞折り込み代		
備 考	折込日はR6.3.31		
領収書貼付欄		(広報費)	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

2024/03/27 10:47

eネットバンキング

画面ID : BKM004

振込 (振込完了)

引落口座選択 振込方法選択 振込先金融機関選択 振込先支店選択 振込金額入力 振込内容確認 振込完了

振込依頼を受付けました。
振込・振替を受け付けました。
受付番号は0327001番です。
ありがとうございました。[B1000]

ページを印刷する

引落口座情報



残高
お引出し可能金額

振込先口座情報

金融機関名

支店名

科目

口座番号

受取人名 (カ)ニカクニカクニカクイカクニカクニカク

振込金額 139,967円

引落合計金額 139,967円 (手数料 0円)

取引区分 振込

振込指定日 03月27日

振込依頼人名 カクニカクイ

• 振込依頼は 3月27日扱いです。

〒 951-8550
 新潟市中央区学校町通1番町602-1

請求書

発行日 2024年03月22日

1/1

無所属の会 御中

得意先コード

〒 950-1179
 新潟市西区善人区
 株式会社 新潟日報 本社内
 株式会社 新潟日報 ネット

振込先別の御月立てを掲載しております。下記の通り御請求申し上げます。

TEL:025-383-8008 FAX:025-383-8007
 登録番号: T5110001004026

年月日	振込種別	内訳	エリア	サイン	枚数	単価	折込額	管理料	権限手配料 特別手配料	当月売上	当月消費税	今回御請求額
	121,890	5,353			0		—			127,243	12,724	139,967
24.3.31	無所属の会		新潟市	B4	19,940	3.40	67,786	677	0			
24.3.31	無所属の会		新潟市	B4	2,390	3.40	8,126	81	0			
24.3.31	無所属の会		西蒲原郡	B4	12,630	3.40	42,942	4,294	0			
24.3.31	無所属の会		白根市	B4	820	3.40	2,788	278	0			
24.3.31	無所属の会		燕市	B4	70	3.40	238	23	0			
	小計				35,850		121,890	5,353	0			127,243
	ズボレサー計				35,850		121,890	5,353	0			127,243
	合計(本社)				35,850		121,890	5,353	0			127,243
	金額											127,243
	消費税(0%)											12,724

【御用込先】
 ※本紙と行き違いで、お支払済みの場合はご迷惑の旨を御座います。

240328 T 1

支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	2
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和6年3月28日		
支出年月日	令和6年3月28日		
支 出 金 額	242,963 円		
支 出 先	日本郵便株式会社		
使 途 内 容	会派通信郵送料		
備 考	西区域内に郵送		
領収書貼付欄	(広報費)		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

領収書

無所属の会 様

[別納引受]		
区内特別基 (定)	20.0g	
073	3,311通	¥241,703

小計		¥241,703

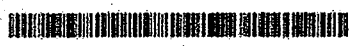
第一種定形	20.0g	
084	15通	¥1,260

小計		¥1,260

郵便物引受合計通数	3,326通	
課税計(10%)		¥242,963
(内消費税等(10%))		¥22,087)
非課税計		¥0

合計		¥242,963
お預り金額		¥243,003
おつり		¥40

印紙税申告納
付につき趣町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2024年 3月28日 16:00
発行No. 240328A2375 端N75箱12
連絡先: 新潟西郵便局
TEL: 0570-943-928

支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	3
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和6年3月22日		
支出年月日	令和6年4月18日		
支 出 金 額	124,678 円		
支 出 先	■■■■■■■■■■		
使 途 内 容	会派通信作成・印刷代		
備 考	B4版印刷36000部のうち折込35850部,残150は手配り A3版5000部のうち西区内郵送3326部,残1674は手配り・中央区等への郵送に使用 266,200円のうち124,678円を計上		
領収書貼付欄	(広報費)		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

領 収 書

無所属の会 様

No.

発行日 2024年4月18日

金額 **¥266,200** (税込)

但 202403無所属の会通信_デザイン・印刷代金として

上記正に領収いたしました。

印 収
紙 入

内 訳 _____
税抜金額 _____
消費税等 _____



発行日： 2024年3月22日

請求書

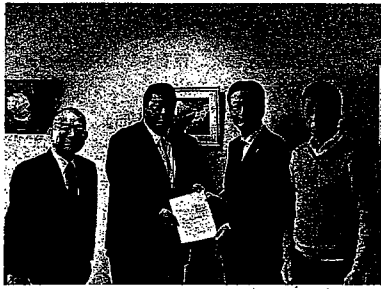
無所属の会 様

下記の通り、ご請求申し上げます。

ご請求金額 **¥266,200**

項目	内容	数量	単価	金額
印刷代	タイトル=202403無所属の会通信 サイズ=B4(輪転大部数印刷) 紙質=コート53kg 部数=36,000部 サイズ=A3 紙質=コート90kg 部数=5,000部	1	¥156,000	¥156,000
デザイン代	サイズ:A4・B4 カラー:4色カラー タイトル:2024無所属の会通信・表裏2面	1	¥68,000	¥68,000
入稿データ作成費	印刷会社規定PDFデータ:x-la	2	¥9,000	¥18,000
	小計			¥242,000
	消費税(10%)			¥24,200
お振込先			小計 合計	¥266,200

昨年の改選後、市議会は新たなメンバー構成となりました。多くの会派が国政政党系列で構成される中、比較的考えの近いリベラル・独立系のメンバー3名で「無所属の会」を結成しました。私たちの会派とメンバーの活動報告をお届けします。



■ 柏崎刈羽原発 「池内特別報告」を新潟市の原発対策に活用を要請 (12月1日)

柏崎刈羽原発に関する新潟県の「三つの検証」は、知事が昨年3月末で検証総括委員長の池内了氏を解任して強引に解体し、実質的な「検証総括」の無いまま、県が報告書を作成しました。しかしこの報告書は、県自身が明言しているように、単に「矛盾や齟齬がないか」確認しただけの内容となっています。

一方、池内了・元検証総括委員長はこれまでのほぼ全ての各検証委員会を傍聴して分析を重ね、未検討の課題や論点、関連事項などをまとめた「池内特別報告」を11月に公表しました。池内氏は「柏崎刈羽原発の今後について考える材料にしてほしい」と述べています。

そこで、当会派としても、本市の今後の原発対策に向け、この「池内報告」を活用すべきとの趣旨で申し入れしました。これに対し、市は「県に対しては県民の理解が得られるよう丁寧な説明を求める」「本市としても池内報告書を意見のひとつとして議論の参考とさせていただきます」と答えています。

■ 新年度予算要望 「地球沸騰化」の時代、未来世代に引き継ぐ新潟市を(12月22日)

昨年は「地球沸騰化」とされる観測史上最高気温が観測され、深刻な気候災害が頻発しました。私たちは、新年度予算策定に向け「全ての政策にSDGs・脱炭素の視点や取組を優先的・横断的に組み入れ、まちづくりと市政運営を進める」を掲げた予算要望を提出しました。要望の中には(1)「子どもたちがのびやかに育つ新潟市へ」—学校施設・教育環境改善、給食費などの負担軽減、地場産農産物の活用促進 (2)「脱炭素社会の実現と豊かな地域を次世代へ」—公共施設の断熱・ZEB化、原発対策強化、ラムサール湿地自治体認証に対応する取り組み強化、中小企業への支援 (3)「人口減少、少子・高齢社会への対応」—小児インフルエンザや成人帯状疱疹ワクチンへの助成、公共交通の改善や利用者負担の軽減 などを盛り込みました。



■ 能登半島地震 — 議会・会派の緊急要望 (1月31日)

1月1日に発生した能登半島地震では、発災当日の避難所の混乱、液状化に伴う大量の土砂の処理などをめぐり、当初は市の対応も相当の混乱もありました。その後、改善も重ね、手探りで進められてきましたが、家屋や店舗などの被害に遭った方々は大きな不安と負担の中で過ごされています。各種支援制度の拡充が必要です。

当会派の中山が団長を務める西区議員団も支援制度の拡充などさまざまな要望を執行部に提出しています。会派としても、1月末、(1)相談体制の強化 (2)各家屋の液状化対策支援に加え、国と協議しながら街区単位での地盤対策強化 (3)避難所運営の改善などを求めています。

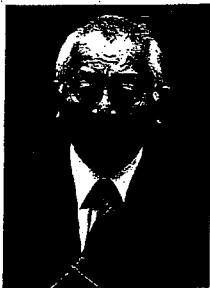
住宅の被害認定基準と新潟市の主な支援制度(3月19日現在)

市の資料だけでは分かりにくい内容を整理してまとめたものです

作成:中山均(問い合わせ:230-6442)

最新情報はQRコード	①住宅の応急修理	②住宅等修繕 (①以外の工事も対象)	③家屋等の解体撤去	④一時的な転居	⑤住宅の建替・購入	⑥転居費用支援	⑦生活再建支援	⑧上下水道料金の減免	⑨被災ブロック塀等の撤去
各欄に太字記載の数字は各段階の支援最大額、単位は万円。補助率の上限があるものもあります。また、②と⑤の支援額下線の「+50」は市独自の加算額で、条件もあります。									
全壊 全壊または一部が倒壊 傾斜1/20以上など	170.6	100+50			100+50	15	400		20
大規模半壊 傾斜割合40~50% 傾斜1/60~1/20など	170.6	100+50	公費解体	市営住宅 (1)	100+50	15	300		20
中規模半壊 傾斜割合30~40%など	120.6	50+50		賃貸住宅 (2)	50+50	15	150	(1) 免除	20
半壊 傾斜割合20~30% 傾斜1/100~1/60など	120.6	50+50				15	50		20
準半壊 傾斜割合10~20%など	64.3	30							20
一部損壊 上記までの被害発生		10							20
損壊無し								(2) 漏水分減額	20
担当課/ 問合せ先	公共建築課 226-2880		循環社会推進課 226-1391 廃棄物対策課 226-1411	住環境政策課 (1)市営住宅: 226-2817 (2)賃貸型応急住宅: 226-2813	建築保全課 226-2864	住環境政策課 226-2813	福祉総務課 226-1169	水道局 コールセンター 0120-411-002	建築行政課 226-2841
その他問い合わせは新潟市コールセンター 243-4894(年中無休、8:00~21:00)か中山まで									

- 【補足】
- 各支援制度の概要・注意点は担当課や当会派の中山までお問い合わせください。
 - 罹災証明交付窓口では十分に説明し、被災状況に応じて利用可能な支援制度も案内することになっています。納得がいかない場合にはさらに説明を求めていると、問題があればご連絡ください。
 - ここであげた他にも、市民税や医療費・保険料等の減免、農業用施設の解体・修繕、店舗・事業所の再建などに向けた支援もあります。
 - 下水の排水が流れにくいなどの相談は下水道管理センター維持管理課 281-9060/9062
 - 被害を受けた私道の復旧(一定の条件あり)の支援は罹災証明不要です(問い合わせ:道路計画課 226-3045)。申請期限は3月29日まででしたが、私たちが延長を求めています。



コイズミ ナカユキ
小泉 伸之 (東区選出)

6 期目
〈所属等〉
市民厚生常任委員会
観光交流調査特別委員会

●学校に行きたくない—いろいろな理由があるよね—新潟市には様々な支援や相談窓口があります。

コロナ禍の中で、不登校児童・生徒の数が大幅に増加しました。新潟市の不登校児童生徒数は、小学校でR2年の426人からR4年の714人と、3年間で1.7倍。中学校で同じく781人から1253人と、1.6倍に。コロナ禍のマスク生活の中で、友達同士のコミュニケーションが取れず、あちこちから「学校がつまらない」と子どもたちの悲鳴にも似た声が聞こえていました。

不登校対策について、不登校解消率は不登校傾向が出て30日を境にその前後で大きく異なり、早期に相談することが大切です。しかし、中には学校に相談しづらい時もあり、新潟市は相談窓口として、市教育相談センターや各区教育相談室を設け、夜間や訪問相談も行なっています (QRコード1参照)。

とにかく親は、子どもが学校に行かなくなると無理やり行かせようとして、逆に悪化することもあります。しかし最近では、「義務教育=学校」ではなく、様々な場で子どもたちの教育の機会を確保することが大切という考え方や法制度に変わってきています。不登校の子どもたちの居場所や学び場として、各区に適応指導教室が設置され、民間運営のフリースクールも認知されてきました (QRコード2参照)。

現在、西区の3小学校で、教職員や地域の学校支援ボランティアの応援を受けて、ひまわりクラブの施設を使った適応指導教室の新たな取組やモデル事業などが注目されています。

人それぞれに個性があり、親や関係者も「一律に学校」ではなく、それぞれの子どもたちの個性に合った選択を、ゆとりを持って進めるべきです。

また、市の新年度事業計画の中では、様々な事情で教育を受けられなかった人たちのために、夜間中学校を作る準備を始めます。夜間中学は、教育を受けられず後悔したり人生を悲観的に諦めている人たちが、新しいことにチャレンジする勇気を得る学びの場として、私も期待しています。



QR1: 教育相談センターと各区教育相談室
QR2: 新潟市フリースクール等連携協議会加盟施設 (2023.6.26 現在)



ナカヤマ ヒトシ
中山 均 (西区選出)

5 期目
〈所属等〉
総務常任委員会
地域公共交通調査特別委員会 (委員長)
西区議員団団長

●能登半島地震対応で駆け回る

発災直後から被災現場を回り、被災された皆さまからの相談を受けながら、西区議員団の団長としても、他の議員らとも協力し、道路・家屋の修理や生活再建のための取り組みの迅速化や強化に向け、活動を重ねています。1月臨時会では西区議員団の提案で「みなし仮設住宅」に関する意見書も全会一致で議決されました。また、市の複雑な支援制度を解説する資料を作成し、「市が作成したチラシよりも分かりやすく内容も充実している」と好評を得ています。オモテ面にも一部掲載しましたが、より詳しい情報が必要な方はお問い合わせください。

●「地域公共交通調査特別委員会」委員長として

新潟交通からの参考人招致、市の所管部局から聴取、委員間での検討など、定例以外にも委員会を積極的に開催し、報道でも取り上げられています。全国で公共交通事業に参入している「みちのリホールディングス」(東京都)やデマンド交通に関する視察などもおこない、委員からの意見を取りまとめ、これらを市への提言としてまとめています。

●「地球沸騰化」への対策求める

昨夏は、「地球沸騰化」と言われる猛暑で、観測史上最も気温が高くなりました。農業被害も懸念し、早期に担当課へ対策を要請し、議会の一般質問でも取り上げ、農政議員連盟 (佐藤幸雄会長) による市や国への要請活動にも参加しました。また、猛暑下の学校の状況を調査し、小中学校のエアコン設置だけでなく、学校も含めた公共建築物の断熱対策をもっと進めることが重要だと訴えています。

●柏崎刈羽原発問題—能登半島地震でもリスク明らかに

今回、震源地近くの志賀原発 (停止中) には3メートルの津波が襲来、機器も一部破損しました。地震は複数の断層が連動したものと見られ、北陸電力や規制委員会の想定を超えていました。家屋の倒壊や道路の寸断で、原発事故があれば避難はきわめて困難で、原発防災計画は文字通り「机上の空論」だったことが明確になりました。今回の経験などからもあらためて明らかになった柏崎刈羽原発の危険性について、議会内外で訴え、活動しています。

●9月・3月議会の一般質問で取り上げた課題

①学校の「年齢主義」(授業内容等の理解の有無にかかわらず年齢で進級する制度)について ②学校施設の雨漏りやひび割れの補修計画 ③災害避難所としての学校施設の整備 ④隠れ教育費 (私費負担) の軽減 ⑤PTAの加入・非加入の自由

●今後取り上げたい課題

①空き家が増える理由と対策 ②社会的養育 (里親制度) ③インクルーシブ教育を起点とするインクルーシブ社会の実現 ④地域のコミュニティの再構築など

●議員と市民・行政との関係について

新潟市自治基本条例には、市民・市・議員の役割について「個人の尊厳及び自由が尊重され、かつ、公正で開かれた市民主体の市政を推進するため、それぞれの果たすべき役割及び責任を担い、自主的かつ自立的に自治運営を行う」「議員は、本市の意思決定機関としての責任を自覚し、執行機関を監視する機関としての役割を果たし、市政の進展及び市民自治の推進、市民の意思を的確に把握した政策の形成への反映、積極的な調査研究を進める」(以上要約)旨、書かれています。つまり、議員の役割は「行政の施策が市民の利益に反しないように監視する」「市民のニーズを的確に把握して市政に反映する」ということだと思います。私は、この理念や考えに沿った活動に努めているところです。

また、声の大きな人だけでなく、小さな声を聴き、誰もが声を出しやすい環境を作り、的確にニーズを把握することも必要です。

この数カ月で、道路の補修、横断歩道やミラー、信号機の設定、道路脇の草刈り、部活の地域移行、不登校、自治会やPTA、学校の雨漏り、一人暮らしの心配、新規就農、耕作放棄地、補助金の申請、除雪計画やゴミステーションの設置、空き家、防災無線、公共交通、入浴施設の運営、イノシシ、地域ネコ、等々の相談がありました。どれも生活に密接し、その内容も多様です。市政や議会はどこか遠くにある難しい世界ではありません。身近な問題を解決すること、問題を未然に防ぐ政策を作り、市政の進展及び市民自治の推進のために活動します。



コウダ ケンタ
幸田 健太 (西蒲区選出)

1 期目
〈所属等〉
文教経済常任委員会
農業活性化特別委員会

支 出 伝 票

会 派 名	無所属の会		
支 出 年 度	令和5年度	整理番号 (項目別)	4
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 事務所費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 人件費		
実施年月日	令和6年3月27日 から 令和6年3月28日		
支出年月日	令和6年4月22日		
支 出 金 額	19,952 円		
支 出 先	和工房		
使 途 内 容	会派通信封入作業等		
備 考			
領収書貼付欄		(広報費)	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。
備考欄には按分率等を記入してください。

無所属の会 様

下記のとおりご請求申し上げます。

税込合計金額 ¥19,952

品 名	数 量	単 価	金 額 (税込)	摘 要
封入作業	1,246	4	4,984	
封入作業	3,326	4.5	14,968	
合計			19,952	

作業期間 令和6年3月27日～令和6年3月28日

令和6年 4月 3日
新潟市西区寺尾台3丁目22-13
和工房(継続支援B型事業所)
担当 [REDACTED]
電話(025)268-3292

2024/04/22 16:39

eネットバンキング

画面ID: BKM004

振込 (振込完了)

引落口座選択 振込方法選択 振込先金融機関選択 振込先支店選択 振込金額入力 振込内容確認 振込完了

振込依頼を受付けました。
振込・振替を受け付けました。
受付番号は0422001番です。
ありがとうございました。[B1000]

ページを印刷する

引落口座情報



残高
お引出し可能金額

振込先口座情報

金融機関名 [REDACTED]
支店名 [REDACTED]
科目 [REDACTED]
口座番号 [REDACTED]
受取人名 竹内 功太郎
振込金額 19,952円
引落合計金額 19,952円 (手数料 0円)
取引区分 振込
振込指定日 04月22日
振込依頼人名 山本 功太郎

• 振込依頼は 4月22日扱いです。

